

伝統音楽の魅力を探る
レクチャーコンサート Vol.10



狂言歌謡はおもしろい

室町時代の歌謡が現代に甦る

「狂言のもうひとつの魅力」

出演者

茂山千五郎
茂山七五三
茂山あきら
茂山千三郎
茂山正邦
茂山 茂
茂山宗彦
茂山逸平
茂山童司

囃子

左鴻泰弘 (笛)
吉阪一郎 (小鼓)
河村 大 (大鼓)
前川光範 (太鼓)

構成・解説

権藤芳一
(演劇評論家)

司会 南端玲子

日時 平成26年11月18日(火)

午後6時30分開演 (開場：午後6時)

※チケット引換え午後5時30分から

会場 京都府立文化芸術会館

京都市上京区河原町広小路下ル

☎075・222・1046

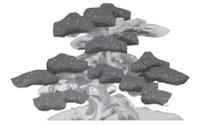
申し込み方法

11月3日(月)までに往復はがき
による申し込み(入場無料)

※詳細は裏面を参照してください。

主催 京都和文華の会
共催 真如苑
協力 立命館大学アート・リサーチセンター
公益社団法人 京都デザイン協会

NPO法人 京都文化企画室



狂言歌謡はおもしろい

室町時代の歌謡が現代に甦る
～狂言のもうひとつの魅力～

「能楽」という言葉があります。能と狂言とを合わせた呼び名です。実はこの言葉は明治になって出来た用語です。それまでは、二つをひっくるめて「能」と言っていました。もちろん、能が主で、狂言が従です。

もともと古くは、今日の能と狂言とは同じ芸能で、猿楽とよばれていました。その中で歌と舞に重点をおいて、古典的な題材や人物の登場する悲劇的な内容を追求していったのが「能楽」です。それに対して、同世代の社会や人物の生活を題材に、セリフとシグサを中心に喜劇的な劇を作ろうとしたのが「狂言」です。二つはその特色を強調するようになってくると、だんだん別の芸能のようになってきました。

しかし長い間（今日でも）同じ能舞台で同時に交互に上演するといった出演方式をとっています。能を時代物とすれば、狂言は世話物ですが、狂言も多分の能の影響を受けています。狂言の中には歌や舞を取り入れた演目が沢山あります。ただその歌舞が、同時代の、つまり室町時代に世間で流行ったものを取り入れています。俗に「室町歌謡」といわれるものです。

今回は、いつもの滑稽な寸劇としての狂言とは一寸ちがった、室町時代の姿を色こくのこした「狂言歌謡」の魅力と新しさをご紹介しますと思います。

権藤芳一（演劇評論家）

プログラム

狂言「呼声」	太郎冠者	茂山千五郎
	主	茂山七五三
	次郎冠者	茂山千三郎
「トークと実演」		権藤芳一
		茂山あきら
「室町歌謡 組曲」	謡	茂山あきら
		茂山正邦
		茂山 茂
		茂山宗彦
		茂山逸平
		茂山童司
	囃子 笛	左鴻泰弘
	小鼓	吉阪一郎
	大鼓	河村 大
	太鼓	前川光範

申し込み方法

往復はがきでお申込みください

※応募者多数の場合は、抽選を行い、11月初旬に結果を返信はがきでご連絡します。

締切**11月3日**(月) 当日消印有効

問合せ先：京都和文華の会 TEL・FAX 0774-43-7577
〒611-0033 宇治市大久保町上ノ山 51-35

郵便往復はがき 611-0033 往信 京都和文華の会宛	宇治市大久保町 上ノ山 51-35	(何も書かないでください)
---------------------------------------	----------------------	---------------

<表>



京都府立文化芸術会館

〒602-0858 京都市上京区寺町通広小路下ル東桜町1
TEL. 075-222-1046
http://www.bungei.jp

京阪電車「神宮丸太町駅」より徒歩10分
市バスターミナルからは、

- 京都市駅(JR) [A2]のりばより4、17、205で約25分
 - 四条河原町(阪急)より3、4、17、205で約10分
 - 三条京阪(京阪)より37、59で約10分
 - 出町柳駅(京阪)より3、4、17で約5分
- いずれも「府立医大病院前」で下車

郵便往復はがき 返信 氏名様	〇〇〇〇〇〇〇〇 ご本人の住所	1. 住所（郵便番号） 2. 氏名 3. 年令 4. 電話番号 5. 希望人員 (2名様まで)
----------------------	--------------------	--

<裏>